



[共通部門]

[農業研究所ホームページへ](#)

1. 農作物生育障害診断アシストシステムの作成

[要約]

病害虫、生理障害等の診断業務において、診断技術向上に役立つ視覚的な学習教材及び過去の診断事例を簡便に活用できる診断アシストシステムを作成した。本システムは、診断事例データベースと診断マニュアルで構成されている。

[担当] 岡山県農林水産総合センター農業研究所 病虫研究室、環境研究室

[連絡先] 電話 086-955-0543

[分類] 情報

[背景・ねらい]

県内の農産物の病害虫、生理障害等の診断業務は、普及指導センターによる初期診断、普及推進課による総合診断及び農業研究所による専門診断で対応している。特に初期診断は、過去の診断事例等をベースとした知識と経験に基づいて実施しているが、普及指導員の世代交代が進むなか、診断技術の伝承、技術向上や過去の診断事例の高度な利活用がますます必要になっている。そこで、診断技術向上に役立つ学習教材及び過去の診断事例を簡便に活用できる診断アシストシステムを構築し、初期診断スキルの習熟を加速化する。

[成果の内容・特徴]

1. 本システムは、県行政ネットワークに接続したPCから閲覧可能な「診断アシストツール・PC版」及びタブレット等モバイル端末から閲覧可能な「診断アシストツール・モバイル版」から成り、各ツール内のコンテンツにはリンク集を介してアクセスできる（図1）。
2. 診断事例データベースでは、農林水産総合センターで実施した診断事例について、現地情報、症状、診断結果、相談者への対応内容及びその後の経過を閲覧できる。
3. 診断マニュアルでは、農作物生育障害診断に係る基礎的な情報（「基礎編」）、個別の病害虫診断の手順に関する情報（「各論編」）及び過去の診断事例の解析により得られた診断に役立つ情報（「情報編」）が閲覧できる（図1）。
4. 診断に役立つ動画コンテンツでは、病害虫診断、害虫の発生予察、土壌診断及び土壌調査に関する技術について、視覚的に学習できる動画コンテンツが閲覧できる（図1）。

[成果の活用面・留意点]

1. 本システムは各農業普及指導センターに限定して公開する。各コンテンツの複製、転載及び引用にあたっては病虫研究室長に相談する。
2. 本システム掲載の診断マニュアルに記載のない要因によって生育障害が生じる場合がある。本システム掲載の情報は、診断の目安として活用し、診断にあたっては症状、圃場での発生状況及び栽培管理状況等できるだけ多くの情報を収集して判断する。



[具体的データ]

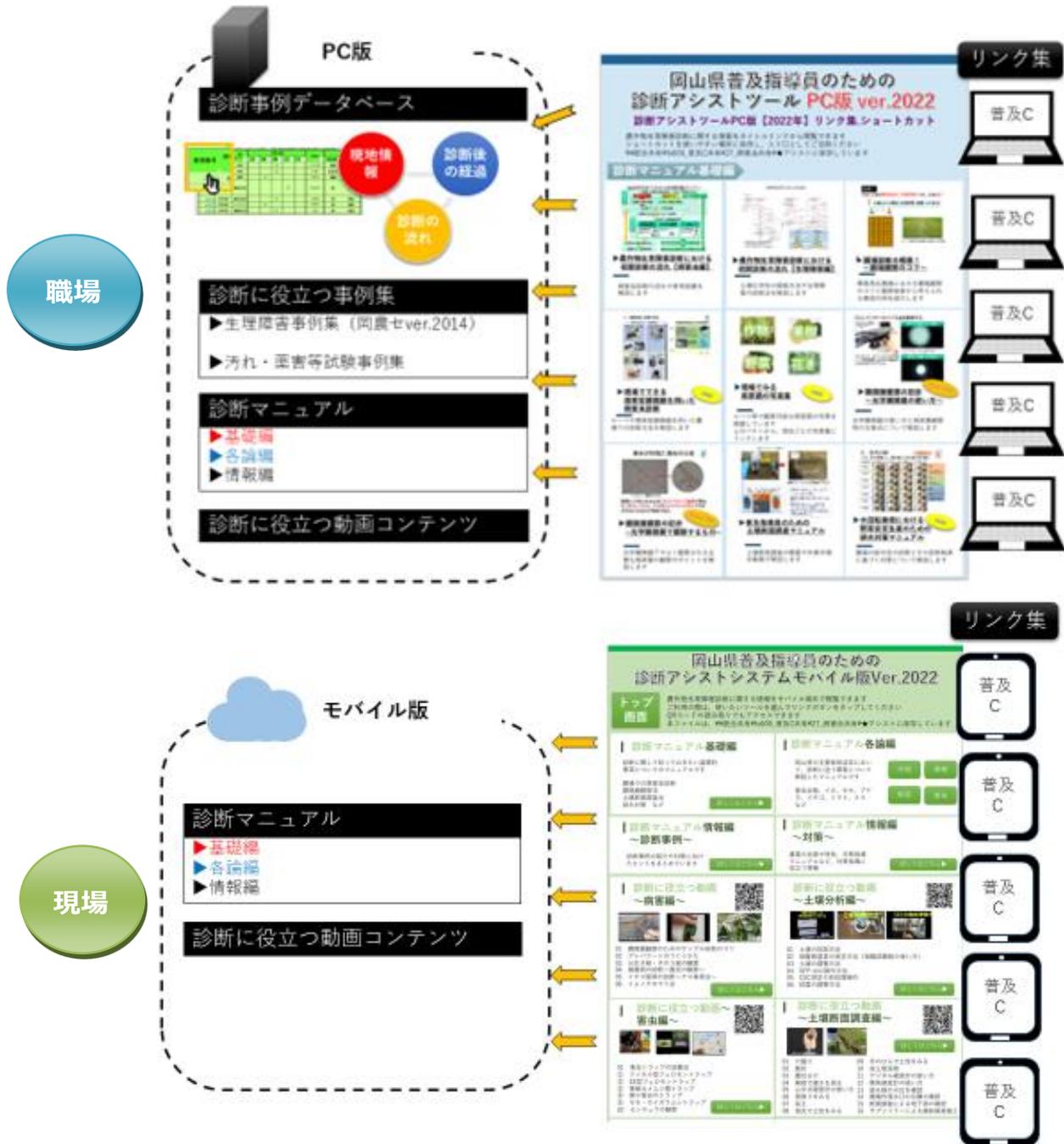


図1 診断アシストシステムの構成

[その他]

研究課題名：農作物生育障害診断アシストシステムの開発
 予算区分・研究期間：県単（重点研究）・令和元～3年度
 研究担当者：桐野菜美子、高馬浩寿、西優輔、鷲尾建紀